

令和 3 年度

第 2 回永明公民館運営推進委員会

日 時：令和 4 年 3 月 1 0 日（木）
午前 1 0 時 0 0 分～

場 所：永明公民館 第一会議室

次 第

1. 開 会

2 挨 拶 （委員長）

3 議 題 （議長：委員長、説明：公民館長）

（1）令和 3 年度永明公民館公民館事業報告について

（2）令和 4 年度永明公民館運営方針について

（3）その他

4 閉 会

永明公民館運営推進委員会名簿

(任期 令和3年7月1日～令和5年6月30日)

No.	役 職	氏 名	役 職 名	備 考
1	委 員	荻野 雅志	木瀬中学校長	
2	委 員	石田 公持	永明地区青少年健全育成会会長	
3	委 員	関口 孝	永明地区社会福祉協議会会長	
4	委 員	小成田 邦郎	永明公民館利用グループ連絡協議会会長	
5	委 員	女屋 由美子	更生保護女性会永明支部長	
6	委 員	早川 千恵子	永明地区食生活改善推進員会会長	
7	委 員	児島 哲夫	永明地区自治会連合会会長	委員長
8	委 員	島田 剛志	永明地区民生児童委員協議会会長	
9	委 員		永明地区生涯学習奨励員連絡会会長	副委員長
10	委 員	三村 都茂子	永明地区保健推進員会会長	

令和3年度 永明公民館事業報告

子育て、親子支援に関する仕掛け

- ・永明すくすく子育て教室「親子ヨガ」(P 2)
- ・子どもが喜ぶ読み聞かせの「コツ」～お気に入りの絵本で練習しよう～(P 3)
- ・永明すくすく子育て教室「親子ふれあい遊び・お口のケアと虫歯予防」(P 3)
- ・親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た!”(P 4)
- ・親子で作ろうかんたん工作(P 5)

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け

- ・夏休みこどもステーション(P 5)
- ・冬の子どもステーション(P 7)
- ・おやこで学ぼう!ワンにゃん講座(P 8)
- ・永明生涯まなび塾「初めての水墨画教室」(P 9)
- ・永明生涯まなび塾「シニアのための健康ウォーキング」(P 10)
- ・永明生涯まなび塾「シニアのスマホ あんしん・安全教室」(P 11)
- ・スマートフォンでできる!確定申告実践講座(P 11)
- ・「睡眠」と「健康」の知恵袋講座(P 12)
- ・懐かしの名作映画鑑賞会『晩春』(P 12)
- ・人権教育に係る児童生徒作品を展示及び掲載(P 13)

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け

- ・バーチャル町探検(P 13)
- ・古文書から学ぶ昔の暮らし(P 14)

地域の人材をつなぐ仕掛け

- ・グループ活動に活かそう!インスタグラム実用講座(P 14)
- ・社交ダンス入門(P 15)
- ・生涯学習奨励員による公民館報への町紹介掲載事業「永明をゆく」(P 16)
- ・情報提供事業(P 16)
- ・協力支援事業(P 17)

子育て、親子支援に関する仕掛け

●永明すすく子育て教室「親子ヨガ」

(1) ねらい

- ①リフレッシュの場を提供し、子育て中の親のストレス軽減を図る。
- ②ふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ③参加者どうし、悩みを共有することで不安やストレスの軽減を図る。
- ④ヨガを通して、忘れがちな自分自身の身体をいたわる機会とする。
- ⑤児童虐待の防止につなげる。

(2) 概要

第1回 対象：首がすわった子～ハイハイができる子どもと保護者

第2回 対象：歩き始めた子～3才位までの子どもと保護者（ただし、オンライン開催となったため、第1回の参加者も参加可能とした。）

講師は、NPO教育支援協会北関東の建物内から協会の機材およびZoomのシステムを利用して指導、招待のID、パスワード等は永明公民館の外部パソコンから配信した。

(3) 内容（★はZoom活用）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1 ★	6/9(水) 10:00～11:00	初めてのBabyヨガ ・親子ヨガの実技 ・プチ座談会	実技 情報交換	NPO教育支援協会北関東 YOGAインストラクター中村美穂氏 協力者1名	5組
2 ★	6/16(水) 10:00～11:00	親子ふれあいヨガ ・親子ヨガの実技 ・プチ座談会			4組

(4) 評価と反省

対面講座を予定していたが県の警戒度が4に引き上げられたためオンラインで実施。5人がオンラインへの変更を理由にキャンセルしたが、Zoomを使う環境がないという人はいなかった。一方で当初からオンライン講座を希望して申し込んだ人の中には下半身に障害がありオンラインだから参加できたという人や、母親の隣でこっそり参加している父親の姿もあった。

講座はとても和やかな雰囲気、講師は個人のペースで参加できるよう指導してくれ、親子のスキンシップを図りながら、とかく忘れがちな自分の体をいたわる機会となったのではないかと思います。プチ座談会では、「コロナ禍で家にいる時間が多くなり、このような講座があって助かった。」「気が付かない間に自分の体が固くなっていた」等の感想や授乳に関する質問も寄せられ、少人数ではあったが必要とする人に講座を提供できたのではないかと思います。



講座の様子

●子どもが喜ぶ読み聞かせの「コツ」～お気に入りの絵本で練習しよう～

(1) ねらい

- ①読み聞かせを通して、家庭内での子どもとのコミュニケーションを促進する。
- ②地域の団体を講師に招き、地域内の学びの循環の機会とする。

(2) 概要

対象：概ね2才から年長の親子等 5組 在籍者数：1組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/30(金) 10:00～11:00	・講師による読み聞かせ&ポイント解説 ・お気に入りの絵本で読み聞かせ練習	講義 実技	駒形読み聞かせの会	3人

(4) 評価と反省

幼稚園等が夏休み期間中で、幼児が在宅している家庭をターゲットに開催時期を設定した。しかし、実際の応募が1組であったため、夏休み期間中とは言え働いている親が多く、平日昼間に開催する講座への需要が低いと感じた(講師からも同様の体験談あり)。ただ、今回参加した方からは、「コロナ禍でどこもイベントが中止になっていて、今回は開催してもらってありがたかった。」とのお声も頂いた。対象者は少ないかもしれないが、子育てで家に籠りがちな保護者のためにも、平日の講座開催も意味があるものだと感じた。講座内容は参加者にも好評だったので、機会があれば同様の講座を企画したい。



講座の様子

●永明すすく子育て教室「親子ふれあい遊び・お口のケアと虫歯予防」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②乳幼児の健康に関する知識を得る。
- ③居場所や悩み相談の機会を提供し、親のストレス軽減を図ることで乳幼児の虐待防止に繋げる。
- ④専門部署と連携し効果的に実施するとともに、講座終了後も相談可能な場所として周知を図る。

(2) 概要

対象：0才(首がすわった子)～3才の子と保護者 8組程度

公民館の会議室から Zoom 配信を行った。

(3) 内容(★は Zoom 活用)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1 ★	2/1(火) 10:00～11:00	①親子ふれあい遊び ②お口のケアと虫歯予防 ③育児や健康の相談	実技 講義	市子育て支援課 歯科衛生士、保育士	5組

(4) 評価と反省

当初は①③および②③を対面にて別日程で行う予定であったが新型コロナウイルス感染症急拡大のためオンラインに変更。参加希望の子ども全員が0歳のため0歳に特化した内容を1時間に凝縮して行った。

Zoomの良さは自宅から手軽に参加できる事だが今回はカメラオフの人が多く運営が難しかった。一方通行にならないよう最後に1人ずつ質問を求めたところ意外に多くの質問が寄せられ、中でも歯に関する内容が多く関心の高さがうかがえた。また、いつでも相談できる先として子育て支援課「にこにこ健康相談」の周知を図った。

Zoomが理由の不参加が2件、内容的に対面講座には及ばない等残念な面もあったが中止せずに実施できたことはよかったと思う。アンケートにも「なかなか子育て支援に参加できずZoomで参加できてよかった」との感想が寄せられた。

不参加の2名にも資料等を送付し参加できなかった人への配慮にも努めた。



ふれあい遊びの様子



お口のケアの講義の様子

●親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP)

桂萱・永明・城南公民館合同開催 ※新型コロナのため中止

(1) ねらい

①初めて子育てをする母親を対象に開催し、ゆったりとした母子の交流と、乳児の子育て期に必要な情報交換や知識について学ぶ場とする。

②同じ月齢期の乳児とその母親を取り巻く不安や喜びを共有し、母として子どもの成長を見守るこころを育む。

(2) 概要

対象：前橋市内在住で、生後2～5か月の第1子（令和3年8月18日～12月17日生まれ）を育てている母親とその子（定員6組）

開催場所：桂萱公民館

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	2/17 (木) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループワーク (※11:30～12:00は交流タイム)	前橋市子育て支援課 BP ファシリテーター	中止
2	2/24 (木) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			中止
3	3/3 (木) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			中止
4	3/10 (木) 10:00～12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			中止

●親子で作ろう！かんたん工作

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②新型コロナやその他感染症が増える傾向にある冬時期に、自宅で親子が楽しく過ごす一助とする。

(2) 概要

対象：未就学児とその保護者

協力：朝倉児童館

親子でできる簡単な工作のキットを職員が作成し希望者に配布。公民館報および市ホームページで周知。ホームページには作成見本と作り方を掲載した。

(3) 内容

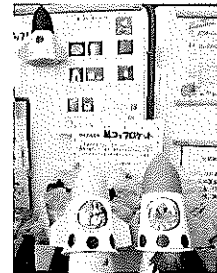
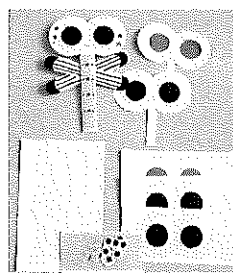
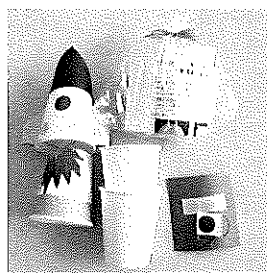
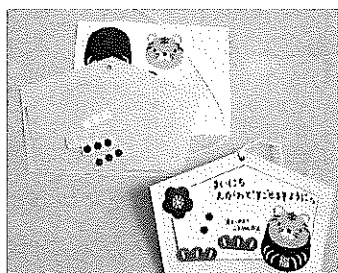
回	配布開始日	学習主題・内容	学習方法	協力者	配布数
1	1/11 (水)	親子で作ろう！絵馬づくり	材料配布	朝倉児童館	50
2	2/7 (月)	作って遊ぼう！紙コップロケット			30
3	3/7 (月)	歌って遊ぼう！とんぼのメガネ			25

(4) 評価と反省

コロナ下で通常の講座の開催が難しい中、可能な子育て支援として本講座を企画。このような内容に不慣れなため朝倉児童館に協力を依頼し工作の内容や作り方を指導していただいた。キットの材料には公民館に在庫の画用紙や色紙、事務用消耗品を活用、職員でアイデアを出し合い楽しみながら作成した。公民館報を見て来た親子や証明交付等で来館した親子などへ各回とも約1か月間配布した。また証明発行を待つ間、子どもの気を紛らわすことにもつながった。

同封した作り方の用紙に感想等をお寄せ頂くためのアドレスと二次元コードを記載したが、残念ながら送信は無く参加者の反応は不明であるが、小さい子どもが嬉しそうに手に取る様子が見られ、親子で楽しむ一時となったのではないかなと思う。

新型コロナの感染は今後も不透明であるため、工夫しながら子育て中の親子を支援する講座を企画していきたい。



キットと作成見本

配布の様子

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け

●夏休み子どもステーション

(1) ねらい

- ①夏休み中に、学校区や学年が違う子どもたちが集まる機会を設け、地域の子ど

も達の仲間づくりを図る。

②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。また、プログラミング体験を通じ、論理的思考・アイデア実現力等の向上を図る。

③公民館利用団体や地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。また、地元企業・大学を講師にすることで地域資源の活用を図る。

(2) 対象者

前橋市内在住の小学生を対象に実施。

延べ出席者数：181人（開設日 夏休み中の10日間）

(3) 内 容（★はZoom活用）

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1 ★	7/27(火) 11:00~12:00	英語 DE 物知り博士	1~3	オンライン 学習	NPO教育支援協会 北関東	14
2 ★	7/27(火) 13:30~14:30		4~6			8
3	7/28(水) 9:30~11:30	色塗り教室（水彩画編）	1~6	実習	永明水彩画クラブ	17
4	7/29(木) 10:00~11:30	音楽でれんそうゲーム	1~3	実習	永明地区食生活改善 推進委員会	10
5	8/4(水) 9:30~11:30	色塗り教室（ポスター画 編）	1~6	実習	永明水彩画クラブ	16
6	8/10(火) 8/11 (水)	琥珀を作ってみよう！	1~6	テイクアウト・ 動画実習	NPO教育支援協会 北関東	91
7	8/11(水) 10:00~11:30	プログラミング教室	1~3	実習	(株)ジーシーシー スタッフ	中止
8	8/11(水) 13:30~15:00	プログラミング教室	4~6	実習	(株)ジーシーシー スタッフ	中止
9	8/12(木) 13:30~15:30	おやこウクレレ	5歳~ 小学生	実習	三ツ葉楽器 ウクレレ♪ママさんズ	中止
10	8/17(火) 10:00~12:00	古墳探検隊！	1~6	体験	文化財保護課	中止
11	8/19(木) 13:30~15:30	ウクレレ教室	1~6	実習	三ツ葉楽器 ウクレレ♪ママさんズ	中止
12 ★	8/23(月) 19:00~20:15	こわ〜いお話会	1~6	オンライン 学習	駒形読み聞かせの会	25

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症の影響により、「琥珀を作ってみよう！」以降の講座が対面で開催出来なくなり、「琥珀を作ってみよう！」は材料を配った上での動画配信（YouTube 前橋チャンネル・限定公開）、「こわ〜いお話会」はオンライン会議アプリZoomを使用したオンライン講座に変更して開催。その他の講座は開催方法の変更が難しく中止することとなった。

開催にあたっては昨年度のアナログアンケートおよび反省を生かし、コロナ禍以前の講座開催数とし、また希望の講座にいくつでも申し込みが出来るように変更。結果として全体の申込み者数206名、延べ申込み数は493名となった。いずれの講座も定員を超える申込みがあり、「音楽でれんそうゲーム」以外の講座は講師と相談の上、人数の上限を増やして対応した。

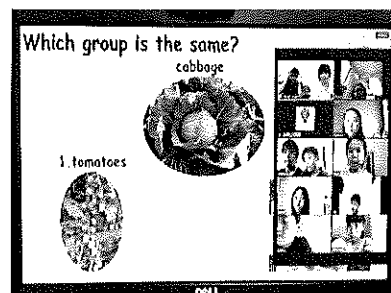
昨年度はあまり申込みのなかったオンライン講座も、学校からのタブレット配付

があったことから申込数も増え、参加者からは初めて Zoom に触れたという意見も見られた。また、昨年度オンライン講座に参加した子どもの継続した申込みもあったため、夏休み子どもステーションを通じてオンライン講座の魅力が少しずつ伝わっているのではないかなと思う。

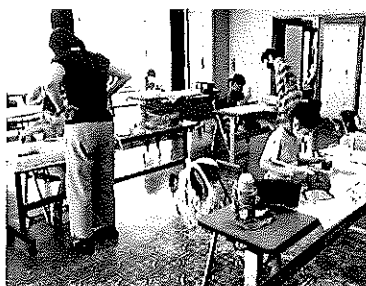
特に、今回初めて挑戦した「こわ〜いお話会」は講師の積極的な姿勢により実現し、今までのようにただ絵本を読むだけでなく、効果音や場面展開を工夫したことにより、より絵本を楽しんでもらえたように感じる。また、本来あった定員数を排除した他、ビデオの ON・OFF、怖いところをみないようにするなどの調整や、部屋を暗くしたり、家族で参加したり、物を食べながら参加する等、各家庭で自由なスタイルで参加出来たことで、オンラインならではの楽しみ方を模索する楽しさもあったように感じる。アンケートでは、コロナ収束後も開催してほしい、他の講座も開催してもらいたい等の意見もあったが、学校配付タブレットの Zoom アプリの使用が限定されることから、来年度開催する際には、各家庭の PC やスマホ等の利用を含めて検討する必要があると思われる。

また、水彩画教室では、今まで子どもたちが描き始めるのを補助する形で開催していたが、始めに講師からの塗り方についての説明を入れてもらい、積極的に教わることが出来なかった子ども達への指導も出来た様に思う。

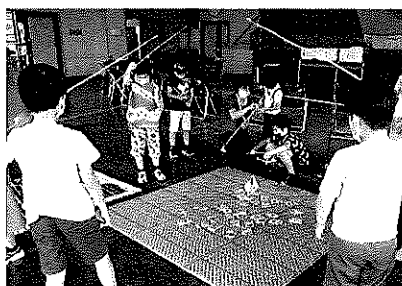
全体の反省としては、申込者数が多大となってしまったことで各メール送付等の手間が増え、ミスを誘発する状態となってしまったこと、また、オンライン講座でやり取りを行う上の細かな対応の不足、および YouTube 動画配信を限定公開にしたことが原因と思われる学校配付タブレットでの視聴不可等があった。オンライン講座や動画配信については、経験不足による部分も多かったことから、確認することにより改善していきたい。申込者数については、ミスを防ぐようなマニュアル作りや対応策を検討していきたい。



英語 DE 物知り博士



色塗り教室（水彩画）



音楽でれんそうゲーム



こわ〜いお話会

●冬の子どもステーション

(1) ねらい

- ①学校や学年の違う子ども達の交流を図る。
- ②自ら体験・作製し、完成した時の満足感を得ることで、子どもの興味・関心の幅を広げるきっかけとする。
- ③公民館利用団体を講師にすることで知の循環と還元を図る。

(2) 対象者

前橋市内在住の小学生を対象に実施。 延べ出席者数 44 人

(3) 内 容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	学習	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/18(土) 10:00~12:00	もこもこマフラーを作ろう!	3~6	実技	永明あみもの教室 永井 良子 他 3 名	16
2	12/27(月) 9:30~11:30	プログラミング教室	1~3	実習	(株) ジーシーシー スタッフ	15
3	12/27(月) 14:00~15:30		4~6			13

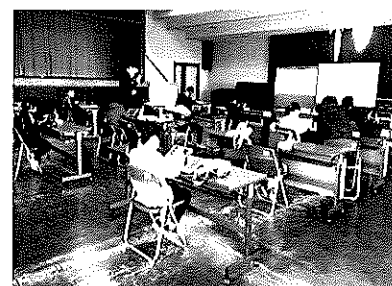
(4) 評価と反省

昨年度実施できなかった指編みのマフラー作りと、夏に開催出来なかったプログラミング教室を再度募集して開催。マフラーについては、当初 3 年生以上を対象とされていたが、低学年の参加希望もあったことから親子参加・1~2 年生の参加も可能としたところ、保護者も含め 15 名の参加となった。当初 2 時間の開催を見込んでいたが、2/3 の子ども達が 1 時間足らずで仕上げてしまったため、次回開催時には調整が必要だと感じた。

プログラミングについては、初めて冬休み期間に開催。低学年高学年共に定員を超える申込みがあり、低学年については 2 倍以上の申込みとなった。開催にあたって、今までは講師が用意したタブレットを使用していたが、学校でタブレットが配付されたことから、そちらを利用した講座に変更を依頼。結果的に、低学年は今までと同じアプリで開催できスムーズな講座となったが、高学年は個人の理解度に差があり、難しかったという子どもと、とても簡単だったという子どもがほぼ同じくらいであった。次回開催する際は、段階を踏んだ開催も検討したい。



もこもこマフラーを作ろう!



プログラミング教室

●おやこで学ぼう! ワンにゃん講座

(1) ねらい

- ①家族で学ぶ機会を設け、コミュニケーションの一環とすること。
- ②保護犬・保護猫を知ってもらう機会を設け、飼育に繋げること。

(2) 概要

対象：小学校 3 年生以上の子どもと保護者、市内在住・在勤の市民、20 組程度

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	12/12 (日) 10:00~11:30	犬や猫ってどうやって飼うの? ・犬や猫を飼い始めたい人向けの講座。 講座終了後に、YouTube にてダイジェスト版を公開。	講義	衛生検査課	23
2	2/20 (日) 10:00~11:30	飼い始めたけど、分からないことがいっぱい!	講義	衛生検査課	4

(4) 評価と反省

まえばし出前講座にあった「上手な犬猫の飼い方」と保護犬等引き取り時の講習会を親子向けにアレンジしてもらい開催。親がいたためか、比較的孩子も集中力を切らさずに話が聞けていたように思う。1部開催時は子どもの集中力を考え、講座自体は1時間とし一時終了、質問がある人は残っていただく形とした。退出は1組のみだった。

2部開催時は、参加人数が少なかったことから、1時間経過時に休憩を挟み、時間まで講座を開催。予定時間終了後となってしまったが、質問を受け付け、それぞれの疑問を解消することが出来た。

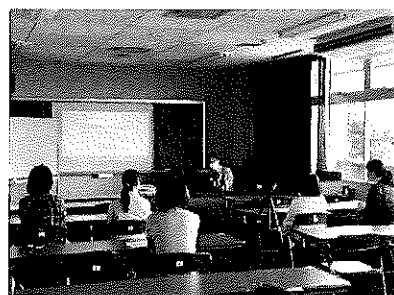
1部の講座の内容としては、命を育てることの責任や実際に飼う時にかかる費用、寿命などについてであり、単純に「かわいい」だけで飼うことの難しさなど実践的な内容だった。参加者のアンケートからも、飼うことについて「もう少し考えたい」と回答した人が半数を占めており、生き物を飼うことについて考える機会になったと思う。

2部の講座は、1歳未満の犬・猫を飼い始めたばかりの親子で、保護犬等の講習会を受けていない親子であったことから、これから10年以上一緒に暮らす上で必要なこと等を多くを学んでもらえたことと思う。

1部開催後に2部参加者の増加のきっかけとするため、1部の講座映像を編集し、ダイジェスト版を①②としてYouTubeへ公開した。1部の講座から引き続きの参加者はいなかったが、今後動画を見て、保護犬や保護猫の引き取り手が増えることを期待したい。



1部開催時の様子



2部開催時の様子

●永明生涯まなび塾「初めての水墨画教室」

(1) ねらい

- ①地域住民の生きがいと健康づくりを目的とする。
- ②公民館学習グループと連携し、学びの地域還元を図る

(2) 概要

対象：一般市民 在籍者数：8名 延べ出席者数：14名

(3) 内容

回	月 日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/20(水) 9:30~11:30	基本の描き方	講義 実習	齋藤晃雲（あかぎ墨彩会講師） 協力：あかぎ墨彩会	7
2	11/2(火) 9:30~11:30				7

(4) 評価と反省

昨年度から再々延期となり、ようやく開催に漕ぎつけることができた。楽しみにしていた人も多く、皆真剣に取り組んでおり水墨画の魅力や描く楽しさを感じてい

るようだった。受講者の希望から講座の延長として2回目の体験講座を実施した。

コロナ禍で外出が制限される中、新たな趣味を見つけ生きがい作りにつなげることを目的に、比較的手軽に始められそうな水墨画に着目し、永明公民館自主学习グループである「あかぎ墨彩会」に協力を依頼したところ会としてもPRの機会になると快く例会日を講座に充ててくれ、準備や講師の補助を行ってくれた。講座後、数名の加入があり会の活性化と学習の地域還元も図ることができた。



講座の様子

●永明生涯まなび塾「シニアのための健康ウォーキング」

(1) ねらい

- ①コロナ禍で自宅にこもりがちな高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とする。
- ②手軽にできる運動として人気のウォーキングについて、正しい方法を学ぶ機会とする。また、新たに始める人のきっかけづくりとする。
- ③健康寿命の延伸を目指す。

(2) 概 要

対象：一般市民

(3) 内容

回	月 日	学習主題・内容	学習方法	講 師	人数
1	11/16(火) 9:30~11:30	・正しい歩き方 ・脳の活性化や転倒予防等のための手軽な運動法 ・ウォーミングアップとクールダウンの方法 ・ホール内および木瀬中グラウンドでウォーキングの実践	講義 実習	前橋市地域おこし協力隊・ウェルネスライフトレーナー 橋本大介 氏	20

(4) 評価と反省

生活課所管の地域おこし協力隊の活動の一環として実施。講師のわかりやすく無理のない指導のおかげで受講者は楽しみながら正しい歩き方やウォーミングアップの大切さ等を学ぶことができた。今回の講座により、日頃何気なく行っているウォーキングがより効果的なものとなること、また、日常にウォーキングを取り入れる人が増えること、ひいては地域住民の健康増進に繋がることを期待する。新型コロナの感染状況の予想が付かず1回のみの講座としたが、復習やレベルアップ、仲間づくりの観点から3回程度の連続講座が望ましいと感じた。機会があれば再度実施したい。公民館報に講座の報告記事と合わせて他館で制作した動画(講師は橋本氏)のURLを掲載し参加者の復習および地域住民の学習に有効に活用させて頂いた。



手軽な運動法の紹介



ウォーキングの実践

●永明生涯まなび塾「シニアのスマホ あんしん・安全教室」

(1) ねらい

- ①スマートフォンを使用する高齢者が増える中、インターネット等にまつわるトラブルに巻き込まれないよう学習する。
- ②トラブルが不安でスマートフォンの所持を躊躇している人が、安心してスマホを所持できるよう学ぶ機会とする。
- ③企業（地区内）や市の機関と連携して効果的に行う。

(2) 概 要

対象：一般市民

(3) 内容

回	月 日	学習主題・内容	学習方法	講 師	人数
1	12/8(水) 10:00~12:00	・個人情報を守るために ・詐欺被害にあわないために ・料金で気を付けること 等 ・実際にあった相談事例 ・トラブルにあったしまった時の相談窓口 等	講義	ドコモショップ前橋東店スタッフ 前橋市消費生活相談員	19

(4) 評価と反省

昨年度から初心者向けのスマホ使い方講座を実施しているが、多少使えるようになった人がトラブルに巻き込まれるのではないかと不安を感じたため、今回トラブル防止のための講座を開催した。実際に講座を開催してみると、受講者間のレベル差を感じたが、アンケート結果では約8割の人が「まあまあ理解できた」と回答しており、トラブルの概略については理解してもらえたのではないと思う。また、消費生活センターを身近な相談先として周知することもできた。休憩時間や講座終了後に積極的に質問している参加者もあり、このような機会の重要性を感じた。

●スマートフォンでできる！ 確定申告実践講座

(1) ねらい

- ①混雑が予想される確定申告の会場に行かないことで、新型コロナウイルス等の感染及びまん延を防止する。
- ②税務署職員の指導により、確定申告にかかる申告者の負担・不安軽減を図る。
- ③スマートフォンを介した確定申告を経験してもらうことで、電子申請に親しみ、自信を深めてもらう。

(2) 対象等

対象：永明地区在住でスマートフォンを使用している方、先着20名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	1/31(月) 10:00~11:30	・スマートフォン申告方法解説 ・各自のスマートフォンを用いた申告作業	講義 実技	前橋税務署職員	12

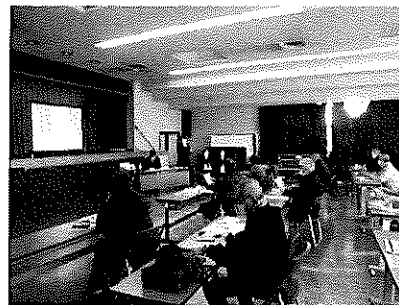
(4) 評価と反省

マイナンバーカード読み取りによるスマートフォン申請について学習と実習を行った。受講者として想定されるご年配の方々の中では、マイナンバーカードとス

スマートフォンを所持している方の比率や、操作の取り扱い上、対象を限定（収入が給与・公的年金・株式等（特定口座で取引している分に限った）したため、受講者が確保できるか気がかりであったが、新型コロナウイルス感染再拡大の中にもかかわらず、ある程度の参加を確保できた。

税務署側のフォローや解説により、アンケートでも「よかった」とする意見が100%を占めた。

スマホとマイナンバーカード活用ということで、前橋DXの推進からも、開催の意義は大きいと思える。



講座の様子

●「睡眠」と「健康」の知恵袋講座(実施前)

(1) ねらい

①シニア世代が、生きがいのある毎日を過ごすため、仲間づくりの機会の提供および生涯学習の啓発を図る。

②健康増進（健康寿命の増進）のための学習機会の提供。

(2) 対象等

一般

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/16（水） 10:00～11:20	『最適な睡眠を考える』	講義	明治安田生命相互会 社 群馬支社	
2	3/23（水） 10:00～11:20	『よい睡眠のための睡眠環境』	〃	〃	

●懐かしの名作映画鑑賞会『晩春』

(1) ねらい

①“家族のつながり”“親子愛”等をテーマにした名作映画を鑑賞する中で人権尊重の意義を知る。

② 地域住民の交流を図る。

③ 懐かしい映画を鑑賞する中で、自らが歩んできた人生の足跡をたどり、明日からの生活に自信をもたせる。

(2) 対象等

対象：一般市民

12月4日から10日まで人権週間。これにちなんでの人権学習教材の映画を上映し、人権尊重の機運を高めるために開催した。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/19（日） 10:00～11:55	映画 小津安二郎監督『晩春』	映画鑑賞	担当職員	5

(4) 評価と反省

昨年度好評であった映画「東京物語」上映につづいて、小津安二郎監督の名作映画「晩春」を上映した。

東京物語と並んで海外での評価も高い作品であり、戦後まもない時代の作品ではあるが、変わらぬ家族愛や思いやりの心を深くとらえた作品であった。

事前の周知が十分でなかったようで、参加者が少なかったことが悔やまれる。今後は周知活動を見直すことにより十分な学習効果の取得に務めたい。

●人権教育に係る児童生徒作品を展示及び掲載

地区内の小中学校（第五中・木瀬中、永明小・駒形小・桃瀬小）の児童生徒が作成した人権標語を館報に掲載。

また、永明小学校で作成した人権標語の日めくりカレンダーを館内ロビーに掲示し、来館者への啓発に活用した。

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け

●バーチャル町探検

(1) ねらい

公民館の施設を映像で紹介するとともに、公民館で働く人を紹介することにより、自分たちの生活とかかわりのある公共施設が身近にあることを気づかせる。

(2) 概要

対象：前橋市立永明小学校児童（2年生）

(3) 内容（★は Zoom 活用）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1 ★	9/28（火） 9：00～10：00 11：00～12：00	・事前に公民館職員が撮影した施設紹介動画を視聴。 ・教室と公民館を Zoom で繋ぎ、動画を見て疑問に思ったことなどを質疑応答。	講義	永明公民館職員 永明小学校教諭	47
2 ★	9/29（火） 9：00～10：00 11：00～12：00	・事前に公民館職員が撮影した施設紹介動画を視聴。 ・教室と公民館を Zoom で繋ぎ、動画を見て疑問に思ったことなどを質疑応答。	講義	永明公民館職員 永明小学校教諭	49

(4) 評価と反省

本来であれば、児童が来館し施設紹介等を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が発令されたことに伴いオンラインでの開催となった。事前準備として公民館職員が施設紹介の動画を撮影。現在の施設だけではなく、建設中の新館についても一部紹介したため、児童も身近な施設として公民館に興味を持ってくれたと思う。また、避難所としての機能を紹介することができ、児童への防災教育の一助となった。

当日は、Zoomで各教室と公民館を繋ぎ、質疑応答を行った。児童から「どん

なことが出来るのか？」や「働いて大変なことは何か？」など様々な質問があった。普段、公民館に馴染みのない児童も多い様子で、公民館を知ってもらう良い機会となった。現地での施設紹介が困難な状況の中、オンラインを活用し講座が開催できたことは意義があり、コロナ禍で地域の小学校と連携を図る貴重な機会となった。

●古文書から学ぶ昔の暮らし(実施前)

(1) ねらい

- ①古文書を保存・解読したいという地域の要望に応える（東上野町所蔵の古文書を学習教材としてとりあげる）。
- ②古文書の取扱や整理、保存の方法を学ぶ。
- ③地域住民の自主的な歴史資料の保存や解読の活動につなげる。
- ④郷土の歴史を学び興味を深めることで、郷土への愛着を深める。

(2) 対象等

共愛学園前橋国際大学と連携し、地区内で発見された江戸・明治時代の古文書を活用して初心者向けの講座を開催する。

学生や勤労者等、新たな参加者をめざし、昨年度から土曜日の昼間（午前）に変更して開催。

対象：原則として市内在住・在勤・在学の一般市民

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/12（土）	・古文書を学ぶ意義	講義	共愛学園前橋国際大学 教授 野口 華世	
	3/19（土）	・古文書を読み解く方法			
2	9:30～11:30	・古文書の解読と解説			

地域の人材をつなぐ仕掛け（自主学習グループ・奨励員活動支援）

●グループ活動に活かそう！ インスタグラム実用講座

(1) ねらい

- ①新型コロナウイルス感染拡大にあたり、公民館利用グループ間および各グループ内の交流、親睦、情報交換の促進
- ②地区内自主学習グループの維持、拡充

(2) 対象等

永明公民館自主学習グループ連絡協議会（連協）加入サークルのメンバーを対象に実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/18(月) A 10:00～12:00 B 13:00～15:00	(基礎編) ①SNS ってなに？ ②インスタグラムとは？ ③アカウントを作ってみよう ④投稿してみよう	講義 実習	NPO法人教育支援 協会北関東 小林秀也以下5名	A13 B14 計27

2	11/22(月) A 10:00~12:00 B 13:00~15:00	(活用編) ①気になることを調べてみよう ②SNS を使うときに注意すべきこと			A13 B14 計 27
全グループをA（午前）・B（午後）の2グループに分けて開催					

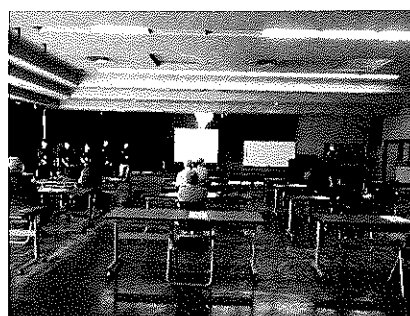
(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大のため自粛を余儀なくされている学習団体・サークルに対し、メンバー相互の交流や作品の発表などを通じてグループ活動や個々の学習意欲の低減を緩和するための一つのツールとしてインスタグラム投稿の活用を提起した。

Instagram アプリをインストールしての参加を条件づけており、その旨募集チラシ等で周知を図ったが、それでも未インストールの方がほとんどであったものの、講師アシスタントの適切なサポートにより速やかに準備を進めることができた。

フォローとフォロワーの関係や、「いいね」やコメント入力などの投稿へのアクションを知る中で、見てもらってより良い反応をえられることを前提とした投稿を行うことで、よりSNSの双方向性を実感できる内容であった。

今後は、連協として共通のアカウントを設置し、各団体のPRと交流を図ることとしたい。



講座の様子

●社交ダンス入門

(1) ねらい

- ①公民館学習グループ活動の活性化を図る。
- ②公民館学習グループと連携し、学びの地域還元を図る。
- ③地域住民の生きがいをづくりと健康づくりを目指す。

(2) 対象等

対象：地域住民一般 定員 12名

(3) 内容

回	日時・会場	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/28（月） 13:30~15:00	社交ダンス入門講座	実習	永明ダンス愛好会 講師 吉田 泰裕 協力 永明ダンス愛好会 スパークダンスクラブ	10

(4) 評価と反省

各公民館では活発に取り組まれている社交ダンス。永明公民館ではひさしく学習グループがなかったが、今年度から「永明ダンス愛好会」「スパークダンスクラブ」の2団体による活動がはじまっている。

折しもコロナ渦で外出や社交などが制限される中、新たな趣味や仲間との出会いを通じて生きがいをにつなげていくことを目的に、両団体との協力で開催した。

今回は入門講座であったが、多くは社交ダンス経験者であり、予定時刻の15時に講座をいったん終了したが、その後40分ほど有志だけでの自主学習には全員が参加するほどの盛り上がりを見せた。

受講生のうち経験者の半数4名は「スパークルダンスクラブ」、まったくの初心者1名は「永明ダンス愛好会」で学習を継続すること

今回の講座が、参加者の生きがいくつとグループの活性化につながれば良いと思う。

●生涯学習奨励員による公民館報への町紹介掲載事業(永明をゆく)

(1) ねらい

- ①各町の行事や史跡などを公民館報に掲載し、住民の地域への興味、愛着の醸成を図る。
- ②紹介文の作成を通して各町の行事や歴史等を再学習・再認識する機会を提供し、生涯学習奨励員の資質向上に寄与する。

(2) 概要

- ①400字程度で町紹介文の作成を依頼。(建制順で依頼し令和元年度から継続)
- ②館報のスペースに合わせ不定期掲載。

(3) 内容

令和3年度掲載実績(令和4年1月現在)

- 令和3年4月号 カントリーエレベーターと三角点・・・女屋町
〃 6月号 東上野町の古文書整理から・・・東上野町
〃 8月号 現存する唯一の古墳 昌岸寺古墳・小島田町
〃 9月号 町の守護神 駒形神社・・・・・・・・駒形町

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症により地域の行事等が中止となっている中で、各町紹介文の作成を通して、生涯学習奨励員の自学自習の機会を提供できた。

しかし、長引くコロナ禍の影響で各町の行事や生涯学習奨励員の活動自体が制限される中で、執筆を依頼しても「掲載できないことがない」などの理由から執筆を断られてしまうこともあった。

地区連絡会と協議の上、今年度の座学・野外研修は中止することとなったが、地域の生涯学習活動を停滞させないためにも、令和4年度については開催する方向で地区連絡会と協議していきたい。

●情報提供事業

(1) 「館報えいめい」の発行

- ①公民館主催事業、地区内各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からのお知らせ等を掲載し、広報と同日の毎月1日に発行している。
 - ②A4版2ページ両面印刷で地区内全戸配付(9,755部/月)している。
- (2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実 前橋市ホームページ内に公民館報をはじめ各種事業紹介のページを展開している。また、フェイスブックへの掲載は、随時行っている。
- (3) 前橋市YouTubeへ各種事業の動画配信を行っている。
- (4) 各町自治会会報の展示及び交換

天川大島町本町・天川大島原町・野中町・上長磯町・下長磯町・女屋町・東上野町・小島田町・駒形町・筑井町・小屋原町（管外）の各町で作成している会報を公民館内に展示するとともに、各町会報の交換を行っている。

（５）団体等の印刷物の展示等

公民館利用グループ連絡協議会会報など、随時展示を行っている。

●協力支援事業

社会体育事業他への協力・援助

主催	月日	事業内容等	参加対象等	人数	会場
各実施委員会	5/9（日）	第35回のびゆくこどものつどい 第22回ふれあいの広場	地区住民・中学生・大学生ボランティア	中止	永明公民館 木瀬中学校運動場
	10/3（日）	第49回地区市民運動会	地区住民	中止	木瀬中学校運動場
	11/6（土） ・11/7（日）	永明地区文化祭	地区住民	中止	永明公民館
子ども会育成団体 連絡協議会	6/6（日）	第46回子ども会卓球大会	小学生4年～6年	中止	永明小学校体育館
	9/12（日）	第32回親子スマイルボウリング大会	小学生4年～6年と保護者	中止	永明小学校体育館
	1/9（日）	第41回子ども会上毛かるた大会	小学生1年～6年	中止	永明小学校体育館
体育協会	5/23（日）	第43回ソフトボール大会	18歳以上の地区住民 （高校生は除く）	中止	桃ノ木川グラウンド
	11/28（日）	第43回卓球大会	18歳以上の地区住民 （高校生は除く）	中止	勤労福祉センター 体育館
	2/20（日）	第15回ソフトバレーボール大会	18歳以上の地区住民 （高校生は除く）	中止	木瀬中学校体育館
他	11/6（土）	永明地区 青少年を明るく育てる集い（地区別会議）	地区住民	中止	永明公民館 多目的ホール

社会福祉協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
11月中	研修視察	社協役員等	中止	—
11/20（土）	ふれあい交流会	社協役員・身障者等	中止	原町自治会館

地域づくり協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
5/9（日）	炊き出し訓練（のびゆく）	イベント参加者	中止	永明公民館
7/20（火）	地域づくり勉強会	地域づくり委員	32人	永明公民館
9/4（土）	ボウリング大会	地域住民	中止	地区内ボウリング場
10/14（木）	健康づくり講座	保健推進員	23人	永明公民館
11/6（土）	炊き出し・防災訓練（文化祭）	イベント参加者	中止	永明公民館

12/5 (日)	健康ウォーキング大会	地域住民	中止	永明地区内コース
2/22 (木)	防災講座	自主防災会員	38 人	永明公民館
3/6 (日)	地域づくり推進大会	地域住民	中止	永明公民館

団体育成

自主学習グループへの援助と協力（35 団体）

子ども会育成指導者・インリーダー研修

(1)ねらい

子ども会活動をより充実させるため、子ども会インリーダー・子ども会育成指導者を養成し資質の向上を図る。

(2)概要

地区子ども会員、子ども会育成会役員を対象にインリーダー講習会・指導者養成を実施。

(3)内容

子ども会指導者講習会

月日・時間	学習主題・内容	講師・協力者（敬称略）	人数	会場
6/19 (土) 14:00～16:00	リーダーキャンプ講習会 （事前講習会）	市子育連役員	中止	永明公民館
6/27 (日) 8:00～16:00	リーダーキャンプ講習会 （実技等講習会）	市子育連役員		—

子ども会育成指導者講習会

月日	事業内容	講師・協力者（敬称略）	人数	会場
5/24 (月) 19:00～20:30	初級指導者講習会	市子育連役員	中止	永明公民館
5/31 (月) 19:30～20:50	卓球審判講習会	永明卓球クラブ 矢島 一紀	中止	永明公民館
6/19 (土) 14:00～16:00	リーダーキャンプ講習会事前 講習会	市子育連役員	中止	永明公民館
9/ 6 (月) 19:00～21:00	スマイルボウリング審判講習 会	スポーツ推進委員 栗本 直樹	中止	永明公民館
11/29 (月) 19:00～21:00	上毛かるた審判講習会	田代 光夫	中止	永明公民館

デジタル・デバйд解消のためのスマホ講座(未来政策課)への協力

月日・時間	学習主題・内容	講師・協力者（敬称略）	人数	会場
11/29・12/13 (月) 10:00～12:00	初心者向けスマートフォン 講座	NPO 法人 教育支 援協会北関東	延 37	永明公民館
1/19 (水) 10:00～12:00	スマートフォン使い方講座	NPO 法人 教育支 援協会北関東	10	永明公民館
2/2 (水) 13:30～13:30	スマートフォン体験講座	NTT ドコモ	中止	永明公民館

名所・旧跡

刑場跡供養塔(天川大島町)
百体観音(上大島町)
義経の腰鎧石(下長磯町)
お上人の大榎(下長磯町)
小島田の阿弥陀様(小島田町)
牛頭天王の獅子頭(駒形町)
梨島翁の顕彰(下大島町)
蓮花院(下増田町) など。



百体観音



牛頭天王
の獅子頭

刑場跡供養塔



梨島翁の顕彰碑

教育・文化

永明小学校
駒形小学校
木瀬中学校



【ウクレレを活かした社会教育】



夏休み中の子ど
もウクレレ教室

【共要学園前蘭国際大学や専門学校との連携】



子育て・親子支援
事業
パソコン講座
古文書講座
のびゆく子どもの
つど

【伝統文化の継承】

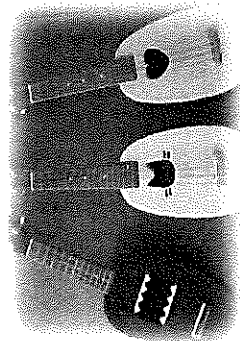


下長磯操縦式三番叟
(県指定無形文化財)

永明地区の地域資源

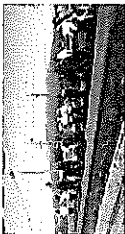
永明地区の概要

14 自治会	天川大島町本町、天川大島町原町、天川大島町住宅、野中町、上大島町、上長磯町、下長磯町、女屋町、東上野町、小島田町、駒形町、下大島町、下大島西団地、下増田町
面積	永明地区 12,261.4 k m ² 永明全体 311,585.7 k m ²
永明地区	世帯数 人口総数 年少人口(14歳以下) 生涯年齢(15-64歳) 老年(65歳以上)
H24.3.31	8,859 戸 21,711 人 2,728 人 13,776 人 5,207 人
R3.3.31	10,684 戸 23,793 人 3,055 人 13,707 人 7,031 人
推移	推 移 1,825 戸 2,082 人 327 人 -69 人 1,824 人
推移率	20.6% 9.6% 12.0% -0.5% 35.0%



地域づくり協議会

【総務広報部会】 地域づくり推進大会開催
【安心安全部会】 防災講座 LPガスバルク吹き出し訓練
【健康づくり部会】 健康ウォーキング大会 健康づくり講座
【世代間交流部会】 世代間交流ポータル大会、家族料理教室

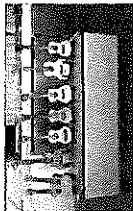


地域ブランド・産業

赤城の産「大島梨」の栽培と直売
ウクレレの国内シェア約70%
娯楽サーブス業...複合遊戯場・日帰り温泉施設 など



大島梨の栽培



ウクレレ生産



清酒醸造元



情報通信産業

地域特性

製 造 業	事業所数 129社 (第1位) 従業員数 2,774人 (第1位)
情報通信業	事業所数 11社 (第4位) 従業員数 916人 (第1位)
娯楽サーブス	事業所数 86社 (第6位) 従業員数 751人 (第2位)

※経済センサス(H28.6.1現在)より

永明地区は、梨畑など豊かな農業地帯に隣接して、古くからの木工団地と、新たな娯楽サーブス業が併存する。最近では、工場用地から住宅地へと変化し、定住人口が増加している。農業・工業・サーブス業など、町ごとに特色が大

交通網

【JR両毛線】
前橋大島駅(天川大島町)
駒形駅(小島田町)



【北関東自動車道】
駒形インターチェンジ(駒形町)
【主要地方道】
国道50号線(天川大島町～小島田町)

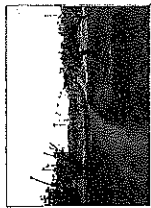
にぎわい・交流



駒形町夏祭り



文化祭や運動会に
おける住民交流



保健推進員おだめ
ウォーキングマップ
(梨畑の小道)

永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2022（願い・思い編）

①. みんなで子育てするまち＝子どもがすくすく育つまち

- ・ふれあいを通してより良い親子関係を築く
- ・公民館の講座や地域事業を通して子育ての悩みや不安が解消される
- ・親どうし、子どもどうしの仲間づくりが進む
- ・お父さんが子育てに関わる機会が増える
- ・穏やかな心で子どもに接することで、虐待がなくなる
- ・地域みんなが子育てを応援するという意識が高まる
- ・安心して子育てができるまちになる



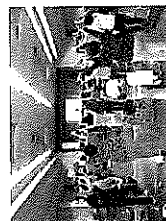
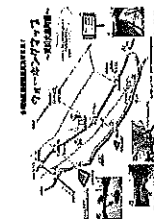
②. 青少年が明るく元気に育つまち

- ・「のびゆくこども」のつどいや公民館講座で体験の場を提供する
- ・公民館講座の体験型・チャレンジ型メニューを充実させる
- ・小中学生を主役とした地区行事を開催する
- ・地域寺子屋により多くの中学生が公民館に集い交流する
- ・地域住民に力を披露する機会を設ける（合唱、吹奏楽等）
- ・青少年育成団体のマンパワーを活かして子どもたちを育てる



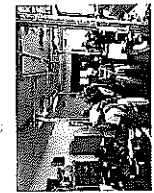
③. 地域とのつながりの中で元気な生活を楽しめるまち

- ・自主学習グループを支援して、住民のつながりの輪を広げる
- ・公民館講座や自主学習活動を通じて、住民の居場所づくりや仲間づくりを推進し、互助・互助の意識を高める
- ・健康ウォーキングマップを活用して健康増進につなげる
- ・民生委員児童委員や保健推進員、食生活改善推進員と連携し、保健衛生の向上とともに健康寿命の延伸にもつなげる



地域づくり協議会と協働した取り組み

- ◆ 地域づくり推進大会の開催、地域づくりニュースの発行（総務広報部会）
- ◆ L.P.ガスバルクを活用した防災炊き出し訓練、防災講座等の開催（安心安全部会）
- ◆ 健康ウォーキング大会、健康づくり講座の開催（健康づくり部会）
- ◆ 世代間交流ボーリング大会、家族料理教室開催



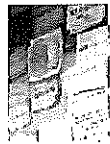
④. 地域の歴史や文化を大切に守るまち

- ・公民館の講座や地域行事を通して、地域の歴史や文化に対する興味を高める
- ・古文書の解説などから、地域の歴史を知る
- ・歴史的資産を大切に保存し、次世代に受け継ぐ
- ・石造物・石仏等を大切に保存し、行事等に活用する
- ・重要無形文化財等を大切に保存し、次世代に継承する（下長瀬町操縦式三番曳、駒形町夏祭りなど）
- ・健康ウォーキングコース沿いの文化財を、地域住民に広める
- ・地域への誇りや愛着を高める



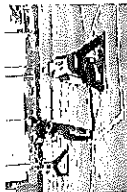
⑤. 地域ブランドを活かして郷土愛を培うまち

- ・地元企業と連携し、地域の魅力を住民に伝える
- ・幅広い世代を対象に、ウクレレの魅力との出会いを提供する
- ・大島梨を活用し、郷土愛を醸成する



⑥. 地域の豊かな人材を活かして住民同士がつながるまち

- ・共愛学園前橋国際大学や専門学校と連携し、住民の学びを推進する
- ・自主学習グループの人材を活用して、互いに学びを高める場を提供する
- ・幅広い分野の出前講座を活用して、住民の学習ニーズに応える
- ・地域で活躍する生涯学習奨励員等の協力を得て、学習意欲を向上させ郷土愛の醸成につなげる
- ・自主学習グループでの学びあいの中で、新たな人材の発掘につなげる
- ・スポーツを通して住民同士がつながり、健康の増進につなげる
- ・青少年育成団体が主体的に子どもたちと関わり、健全育成に貢献する



永明地区の地域資源を活かしたコミュニティデザイン2022(仕掛ける・つなぐ編)

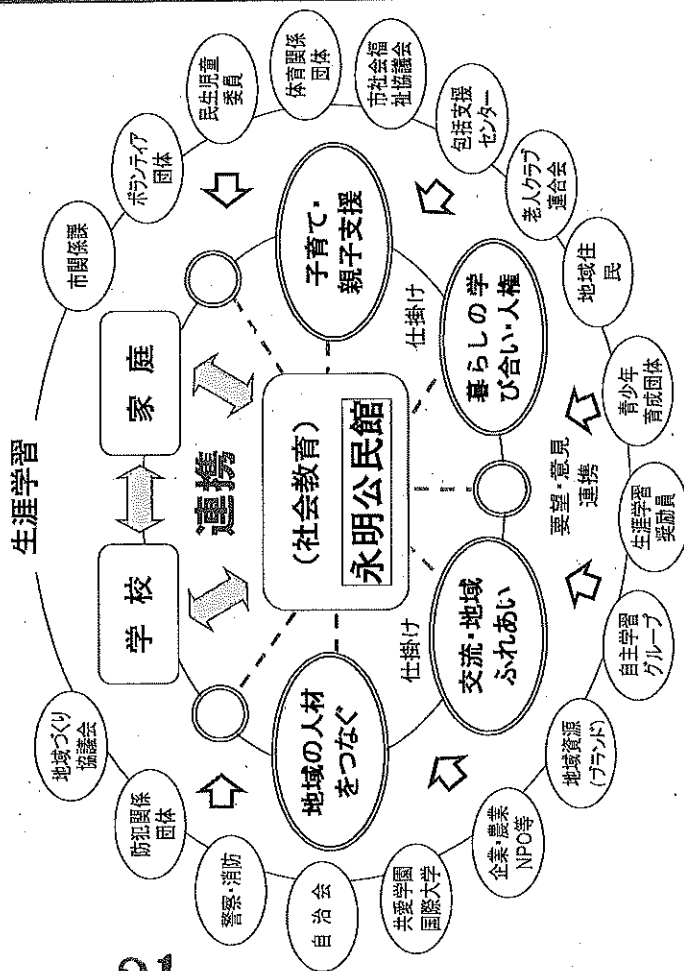
公民館という仕掛け(運営方針)

- (1) 公民館は、住民にとっての居場所であり、交流拠点でもあるので、気軽につどい、共に学び、つながる場を提供し、地域社会に密着した公民館運営を推進する。
- (2) 「今の時代」「地域特性」を意識した講座の充実を図るとともに、学んだ成果を地域に還元することができている人材を輩出する。
- (3) 地域資源(地域ブランド)を生かして、地域の連帯感や郷土愛の醸成を図ることにより、住んで良かったと思える、末永く明るい(永明)公民館づくりを行う。

永明公民館 分野別の仕掛け(重点施策)

永明地区の
願い・思い

仕掛けのイメージ



子育て・親子支援に関する仕掛け

- ・孤立しがちな母親への学習機会を提供する
- ・親子のふれあいを取り入れた子育て・親子支援事業の実施
- ・父親の子育てへの参画を促進する講座の実施
- ・地域で子育てを応援する取り組みの推進
- 【連携・協力】子育て支援課、共愛学園前橋国際大学、保健推進員、民生児童委員、ボランティア団体、食生活改善推進員、その他地域団体 等

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け (より良い生活づくり)

- ・今の時代を意識した、幅広い世代に対応した講座の開催
- ・青少年体験・チャレンジ活動として、子どもたちの好奇心や学習ニーズに対応した体験型教室の開催、青少年が参加しやすい行事の開催で健やかな成長を支援
- ・健康寿命の延伸を目指した健康づくり事業実施、生活支援が必要とされる住民に対する地域福祉の推進
- 【連携・協力】老人クラブ連合会、共愛学園前橋国際大学、公民館学習グループ、保健推進員会、青少年育成団体、体育関係団体、民児協、市社協、包括支援センター、その他地域団体

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け (地域資源の活用)

- ・地域の文化遺産を学ぶ機会の提供による郷土愛の醸成
- ・地域に埋もれた古文書や石造物等の歴史的遺産の活用
- ・地域ブランド(ウクレレや大島梨等)を活かした事業の企画、実施
- 【連携・協力】地域づくり協議会、共愛学園前橋国際大学、ウクレレ製造会社、公民館学習グループ、景樹組合、JA、酒造会社、その他地域団体 等

地域の人材をつなぐ仕掛け (自主学習グループ・奨励員活動支援等)

- ・教育機関との連携: 多様な教育資源を有する共愛学園前橋国際大学や専門学校と多方面において連携し、その知的財産を地域住民に還元し、地域に根ざした人材育成につなげる。
- ・知の循環: 生涯学習奨励員や自主学習グループへの活動支援とともに、近隣の教育機関との連携協力による公民館講座の運営側に参画を促し、知の循環につなげる。
- ・地域づくり協議会との共催: 地域づくり協議会の活動(安心安全、健康づくり、世代間交流)と、公民館事業との連携のあり方を研究し、地域づくりの担い手育成につなげる。
- ・様々な地域団体との連携: 防災、防犯、見守り等の実施により、安全なまちづくりを目指す。

① みんなで子育て
をするまち=子ども
がすくすく育つ
まち

② 青少年が明るく元
気に育つまち

③ 地域とのつながり
の中で元気な生活
を築きめるまち

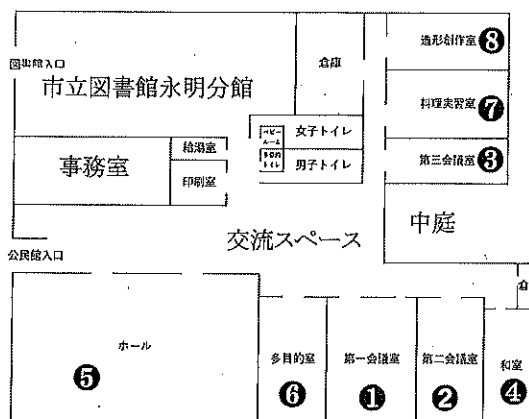
④ 地域の歴史や文
化を大切に守るま
ち

⑤ 地域のブランドを
活かして郷土愛を
培うまち

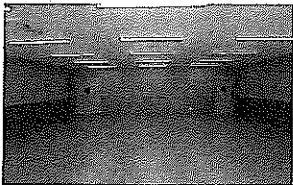
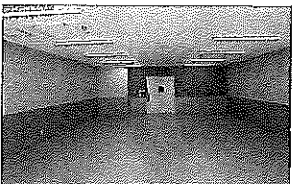
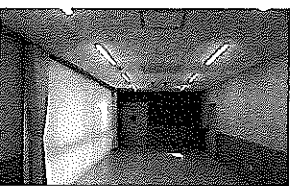
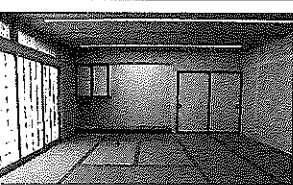
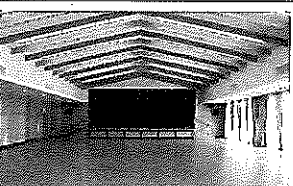
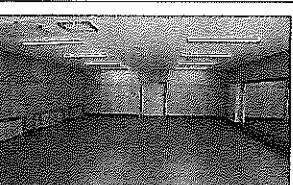
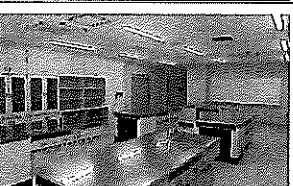
⑥ 地域の豊かな人
材を活かして住民
同士がつながるま
ち

新公民館について

■ 5月16日（月）オープン



【各部屋について】

部屋名	使用料（円）			各部屋の様子
	午前	午後	夜間	
① 第1会議室 定員：55人 （コロナ下 37人）	600	820	820	・机 19、イス 55 ・スクリーン設置 
② 第2会議室 定員：37人 （コロナ下 25人）	440	600	600	・机 13、イス 25 
③ 第3会議室 定員：24人 （コロナ下 12人）	270	380	380	・机 8、イス 24 
④ 和室 定員：17人 （コロナ下 12人） ※15畳	220	270	270	・15畳 ・座卓 10 ・茶道設備 
⑤ ホール 定員：160人 （コロナ下 80人）	2,090	2,800	2,800	・机 35、イス 160 （通常は収納） ・防音仕様 ・音響設備 ・姿見設置 
⑥ 多目的室 定員：37人 （コロナ下 28人）	490	660	660	・机 13、イス 37 （通常は収納） ・防音仕様 ・姿見設置 
⑦ 料理実習室 定員：25人 （コロナ下 12人）	490	660	660	・調理台 5、イス 25 ・下駄箱 ・室内履きあり ・調理台の流しは蓋があり試食可 
⑧ 造形創作室 定員：24人 （コロナ下 12人）	490	600	600	・工作台 4、イス 24 ・電気釜 ・水道あり 